

## ●古河公方の歴史を学びながら公園をてくてく散歩してみましょう。

古河公方公園は、足利成氏（あしかがしげうじ）が鎌倉から古河に居を移し、古河公方として館を築いた場所です。古河公方の歴史を感じながら公園をてくてく散歩してはいかがでしょうか。

### ●古河公方の始まり

■関東以北の政治を任されていた鎌倉公方の足利成氏は、補佐役の上杉憲忠（うえずぎのりただ）と対立し、室町幕府から討伐軍を差し向けられ、1455年に古河に移り、古河公方と称しました。

### ●古河公方館跡

■初代古河公方足利成氏が鴻巣に築いた館（鴻巣館）は、1627年に廃止されるまで、古河城の別館として「鴻巣御所」と呼ばれていました。森の中には当時の空堀・土塁の痕跡が残っており、公方館跡の石碑の西側にその面影を感じることができます。現在、本丸のあった場所は「公方様の森」と親しみを呼ばれています。



①古河公方館跡



②土塁・空堀跡

### ●氏姫ってどんな人？

■氏姫（うじひめ）は、最後の古河公方、第5代足利義氏の息女で、小田原北条氏滅亡後、古河城廃却に伴い、古河城から鴻巣館に移り、豊臣秀吉によって、鴻巣周辺7カ村を安堵されました。その後、秀吉の政略によって、分家の喜連川国朝（きつれがわくにとも）・頼氏（よりうじ）と結婚しましたが、喜連川には赴かず、終生鴻巣館で過ごしました。

### ●公方とは？

室町時代から江戸時代にかけての公方とは、「将軍」という意味で、室町時代は足利将軍家の一族を公方様と呼んでいました。

### ●足利義氏とは？

足利義氏（あしかがよしうじ）は、第5代古河公方で、第4代古河公方足利晴氏（あしかがはるうじ）の次男にあたります。



③徳源院跡

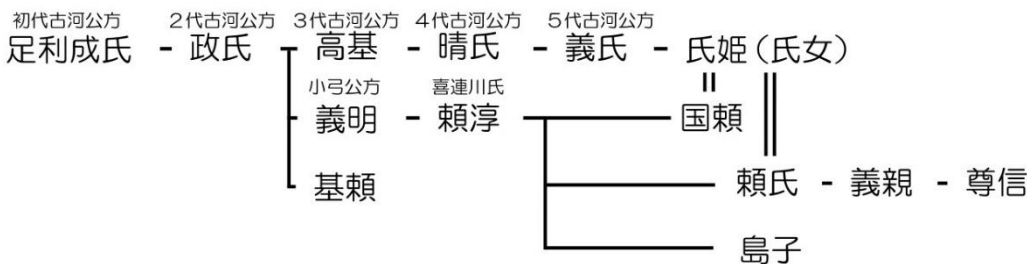


立入禁止！  
落枝の危険有

### ●徳源院跡（足利義氏墓所）

■足利義氏の息女である氏姫（うじひめ）の法号から「徳源院（とくげんいん）」と称した寺院の跡です。ここは、県指定の史跡「古河公方足利義氏墓所（こがくぼうあしかがよしうじぼしょ）」となっています。正面の石碑は1926年に建てられた「古河公方義氏公墳墓」の標石、左の石囲いの中には氏姫の宝篋印塔（ほうきょういんとう）があり、氏姫の一子義親（よしちか）の宝篋印塔、七地蔵を刻んだ石幢（せきどう）、義氏の遺骸の一部が葬られたと考えられている土塚も残されています。

### ●古河公方系図



### 公園周辺は歴史がいっぱい

公園周辺には、松月院御所塚や、古河城本丸跡、少し離れますが、古河の歴史を存分に楽しめる古河歴史博物館もあります。本格的に古河公方について知りたい方は、博物館に足を運んで古河の歴史を満喫してみてもはいかがでしょうか。

## ●マスク・手洗いなど、感染症対策をしっかり行い、公園の冬を満喫してください。